

## 日本生体医工学会 平成 26 年度 臨時理事会 議事録

日時: 平成 27 年 4 月 10 日 (金) 15:30 - 17:30

会場: 大学コンソーシアム京都 キャンパスプラザ京都 会議室 2

出席者:

理事長 佐久間一郎

副理事長 野村泰伸、山家智之

理事 石原 謙、伊関 洋、大城 理、大須賀美恵子、楠岡英雄、砂川賢二、  
中沢一雄、松田哲也、松村泰志、村垣善浩、吉田正樹

監事 阿部裕輔

欠席者:

理事 木村裕一、椎名 毅、橋爪 誠、増山 理

監事 牧川方昭

幹事 植野彰規、花房昭彦

配布資料

26-7-0 日本生体医工学会 平成 26 年度臨時理事会議題

26-7-1-1 日本生体医工学会 平成 26 年度 第 6 回理事会 議事録 (案) その 1

26-7-1-2 日本生体医工学会 平成 26 年度 第 6 回理事会 議事録 (案) その 2

26-7-2 日本生体医工学会 平成 26 年度論文賞・阪本賞候補論文選定調書

26-7-3 生体医工学会専門別研究会 評価ならびに平成 27 年度配分額について

26-7-4 日本生体医工学公益法人化の作業に関して

26-7-5 APRNF プログラムの参加者の選出

議事

### 1. 理事会の成立確認 (大城理事)

成立要件を満たしていることを確認し、開会を宣言した。

### 2. 前回議事録承認の件 (大城理事): 資料 26-7-1-1, 26-7-1-2

議事録を確認した。

3. 日本生体医工学会 平成 26 年度論文賞・阪本賞候補論文選定調書 (大城理事):  
資料 26-7-2

平成 26 年度論文賞・阪本賞が,

#### Improvement of Diameter Selectivity

in Nerve Recruitment Using Multi-cuff Electrodes.

Ayako UENO, Norihiro KATAYAMA, Akihiro KARASHIMA, Mitsuyuki NAKAO,

Advanced Biomedical Engineering, 1, pp. 36 - 42 (2012).

に受与されることが決まった.

4. 専門別研究会報告 (楠岡理事): 資料 26-7-5

メール審議された内容が資料に従って説明された.

- ・ BME on Dementia 研究会

請求資料が提出されたため, 5 万の補助を行う.

- ・ 航空・艦船医工学研究会は,

全く連絡が取れないため解散を命じる可能性が高い.

- ・ マルチモーダル脳情報応用研究会

時効であるが新規申請されている満額回答する.

- ・ 下記研究会は資料到着を待っている最中である.

ニューロ・インフォマティクスにおける ME 研究会

バイオメカニクス研究会

医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会 (略称: RS 研究会)

生体医用画像研究会

- ・ 各委員会, 特に, 最終年度の委員会には, 終了, 継続等を明確に宣言して頂く.

- ・ 予算は 1 月末に締めて, 2 月中には決算報告して頂くようお願いする.

5. 公益法人化の作業 (阿部監事): 資料 26-7-4

- ・ 公益法人化の作業に必要な作業は, 定款改定と財務の見直しである.

- ・ 財務調整に関して説明

具体的には, 昨年度の大会, 試験事業の黒字により

全体的に黒字の決算となるため,

黒字予定の 1500 万円を公益目的保有財団に変更し,

継続的な学会賞資金の一部に当てる.

具体的には、400 万円を「学会賞事業資金」に組み入れ、これを「特定費用準備資金」から「公益目的保有財産」の一部に変更する。また、1100 万円を「教育・試験事業積立金」に組み入れを行い、これを公益目的保有財産とするという案が提案された。

- ・公益法人化に財務の見直しに関して説明  
予算と決算が極めて乖離しているため、試験事業の黒字（財源）を収入、他の公益目的事業の赤字を支出（配分）とした予算の作成が求められる。そのため事業間の関係も考慮して予算委員会を稼働させないといけない。
- ・今後の予定としては、  
公益法人化に向けた財務の見直し（6、7 月）、修正予算、修正予算の理事会承認（7 月もしくは 8 月の理事会）、公益申請（9 月）、登記（平成 28 年 4 月 1 日）である。

#### 6. 日本生体医工学会 選奨規程（中沢理事）

- ・論文賞を含む種々の学会賞の選奨規定の見直し（正確性の確保）が必要であるという意見が出た。  
また、選奨も含めて学会における全ての規約を調査するワーキンググループが必要であるという意見が挙げられた。
- ・論文賞は、「生体医工学」と「ABE」を合わせて選考対象とする。  
「生体医工学」投稿論文が選賞された場合は全著者が会員である必要がある。特に、筆頭著者は会員になってもらう依頼する。  
しかし、「ABE」は海外からの投稿もあるので、著者が非会員である場合が多く、対応を協議する必要がある。  
また同賞の賞金は、次回改訂規定において 10 万円とすることを明記する。
- ・論文投稿、あるいは、受理の際に  
受賞の場合、会員であることが必要であるということを「投稿規定」と通じて著者に告げる必要がある。

#### 7. 第 2 種 ME 試験・上海会場開催に伴う覚書（大須賀理事、佐久間理事長）

- ・佐久間理事長と島津先生が電話等で議論を行っている。
- ・島津先生が理事就任後に詳細をつめることとする。

## 8. APRNF プログラムの参加者の選出 (大城理事): 資料 26-7-5

- IFMBE Network Fellowship Grant へ応募には,  
東北大学の山田昭博氏から申込みがあり,  
日本からの候補者として APWG に推薦し, 最終的に山田氏を含む 4 名が選出された.

## 9. その他

- IFMBE (WC2015) の総会 (2015/6/10) に,  
佐久間理事長, 椎名理事, 砂川理事が参加する.
- 楠岡理事から, 学会のアーカイブ機能の強化が必要であるとの意見が出された.  
これに専従する事務局職員を雇用することも検討する必要がある.
- 古川先生の追悼文は, 鈴木良次先生に執筆頂くことになった.